

(3) 知的障害養護学校(中学部)

(様式1)

フェイスシート

(作成日：平成17年 月 日 学年：中学部2年)

● 氏名・住所等

本人	ふりがな	たかはし じろう	性別	生年月日	平成 4年 9月 1日生
	氏名	高橋 二郎	男	電話番号	- -
	住所	〒 000 - 0000 市.....			
	入所施設	○無 ・ 有			
	主障害	知的障害	他の障害	心臓機能障害(心室中隔欠損症(術後))	
	診断名	ダウン症候群、心室中隔欠損症	療育手帳	A (H6. 7. 1交付)	
	身障手帳	2種 4級(H10. 4. 1交付)	精神障害者保健福祉手帳	(. . 交付)	
保護者	氏名	高橋 五郎	緊急連絡先	自宅	- -
				携帯	- -
				(職場)	- -
	住所	〒 000 - 0000 市.....			
家族構成	家族構成図		氏名	生年・学年	続柄
	<p>(出生地 札幌市)</p>		高橋 太郎	S 1 1	祖父
			高橋 五郎	S 3 7	父
			高橋 花子	S 3 9	母
			高橋 一郎	高 1	兄
			高橋 二郎	中 2 (本校)	本人(次男)
在籍校	学校名	北海道 養護学校	担当教諭		
	住所	〒 000 - 0000 市.....	電話番号	TEL	- -
				FAX	- -
			寄宿舍入舎	○有 ・ 無	

● 妊娠・出産・発育の様子

胎 生 期	妊娠中の母親の健康状態： <input checked="" type="radio"/> 良・他 妊娠中の病気等： <input checked="" type="radio"/> 無・有(病名) 薬の服用状況： <input checked="" type="radio"/> 無・有			・ 妊娠期に気になったこと 特になし	
出 生 期	妊娠期間	41週	出生体重	3016g	・ 医師の診断や出産時に気になったこと ・ 出生時、に医師よりダウン症の疑いがある旨を伝えられ、出生後、ダウン症の診断あり。 ・ 1歳児、心室中隔欠損症の診断があり、手術を行った。
	分娩	<input checked="" type="radio"/> 普通・逆子・鉗子・吸引・帝王切開・他			
	様子	<input checked="" type="radio"/> 普通・衰弱・仮死・双子・臍帯てん絡・他			
	泣き方	<input checked="" type="radio"/> 良好・他 (アプガースコア (A P S))			
	黄疸	<input checked="" type="radio"/> 普通・ <input checked="" type="radio"/> 軽・重	保育器使用	<input checked="" type="radio"/> 無・有(日)	
乳 幼 児 期	首の座り (1歳4か月) はいはい (1歳9か月) 一人歩き (3歳3か月) 人見知り (3歳ごろ) 指差し (2歳6か月) 片言を言う (4歳5か月) おしっこやうんちを予告する (5歳) 一人でおしっこ(6歳)・うんち(8歳) トレーナーなどの簡単な服を一人で着替える(8歳)			・ 乳児期、幼児期に気になったこと	

● 療育・教育の状況

幼児期	幼稚園、 学園(通園)	・ 備考(就学の場の変更等) 小学校1、2年生時に、 小学校特殊学級に在籍、その後、 年 月に本校に転学。
小学校	市立 小学校 北海道 養護学校(H年~)	
中学校	北海道 養護学校	
高校		

● 医療にかかわる特記事項

<ul style="list-style-type: none"> ・ 心臓機能障害(心室中隔欠損症(術後))により、激しい運動(顔をつけた水泳やマラソンなど)には制限がある。 ・ 近年肥満傾向が著しく、心臓への負担を少なくするためにも食事制限が必要であると、主治医より指摘されているため、食事制限に当たって、保護者、主治医、栄養士との十分な連携が必要である。

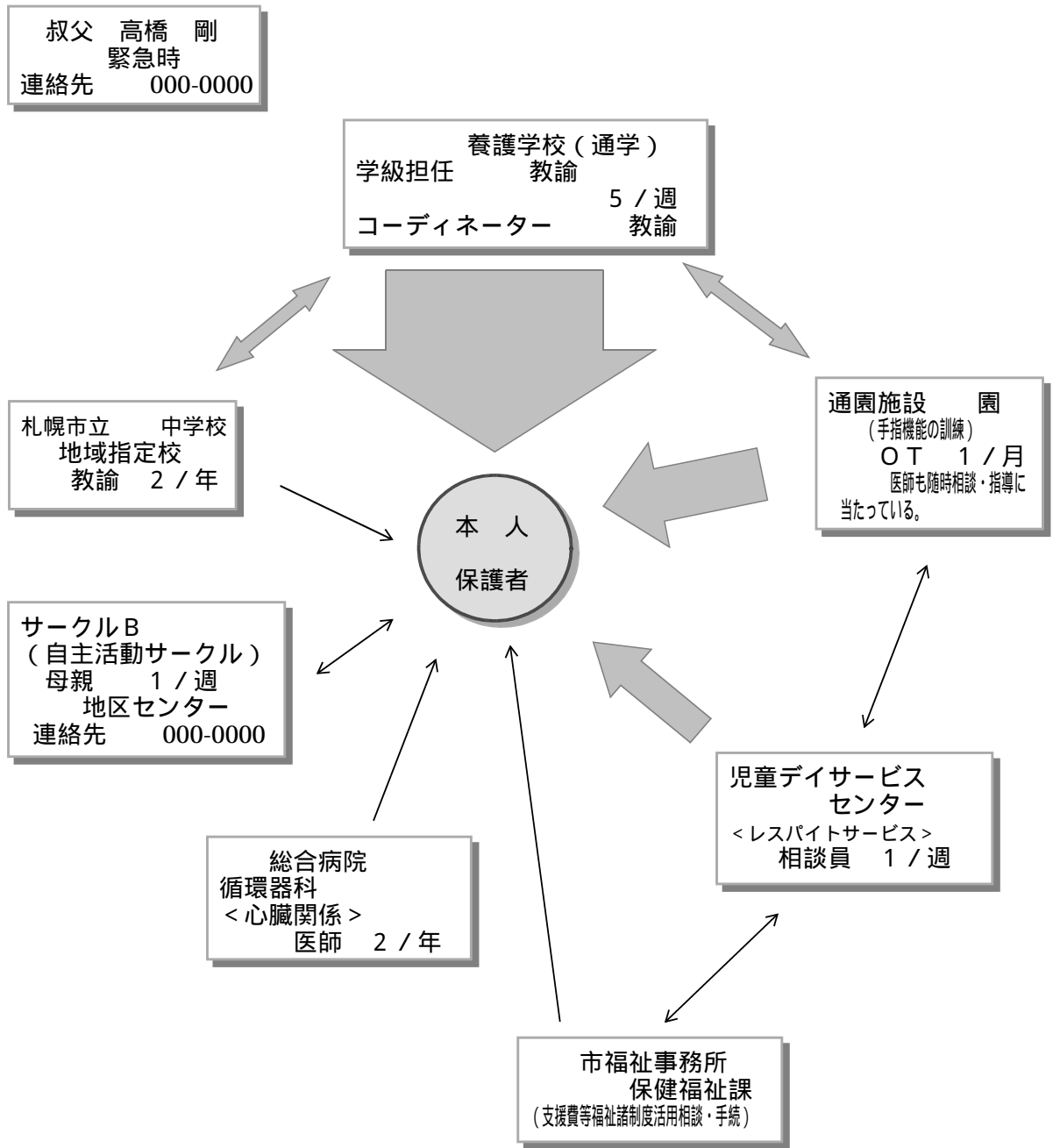
● 特記すべき生育歴及びその他の事項

--

● 特徴

<p>得意なこと、好きなこと、興味・関心の強いこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を好み、音楽に合わせて歌ったり、踊ったりする。(自宅ではよくCDを聞いている) ・好きなビデオを見たり、自転車を押ししたりすることを好む。 ・甘いものが好き。
<p>苦手なこと、嫌いなこと、避けなければならぬこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 激しい運動は禁忌(心臓機能障害のため)。 ・ 段差や高所、揺れや回転運動を怖がる。 ・ 大きな音(破裂音や甲高い音など)を嫌がる。 ・ 手指の巧緻性が低く、細かな作業が苦手(通園施設 園で定期訓練を受けている。)
<p>身体・健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心臓機能障害により運動制限がある。プール学習では、顔を長時間水につけることは避ける。マラソンなど心臓に過度の負担をかける運動は避ける。 ・ 段差や高所、揺れや回転などの運動を怖がり、避けたり拒否的行動をとることもあるが、安全であることが理解できれば、自分から取り組むことができる。 ・ 基本的な運動能力は過度な負担にならない範囲でほぼ獲得している。 ・ 手指機能の向上をねらい、作業療法士に月1回の訓練を受けている。 ・ 近年肥満傾向が著しく、食事制限が必要であることを主治医から指摘されている。
<p>意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科等の授業においては、落ち着いた態度で聞く、書く、話すなどの学習ができる。 ・ 新しい物事に対しては、理解、納得すれば熱心に挑戦することができる。 ・ 手先を使う仕事には、指示を聞いて、自分で取り組もうとするようになってきている。 ・ 音楽を聞くと、自分から声を出したり、踊るなど積極的な行動がみられる。
<p>対人関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオを見たり、音楽を聞いたり一人で遊ぶことが多いが、友だちに誘われたり、話しかけられたりすると一緒に遊ぶ。 ・ 他者へのかかわり方はパターン化されているが、大人には親しみをもってかかわりを求めることが多い。 ・ やや発言が不明瞭であるが、簡単な受け答えができる。 ・ きまりやルールを理解できなかつたり、自分の思った通りにならないと、まれに周りの人を叩くなどの行動がみられることもある。
<p>集団活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周囲の様子などから活動内容を理解すると、様々な集団活動に参加できる。 ・ 簡単なきまりやルールのある遊びや活動に参加できる。
<p>知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャツのボタンはめや靴の脱ぎ履き、歯磨きなど手先を使った活動には援助は必要であるが、身辺処理に関する基本的な生活習慣はほぼ自立している。 ・ 平仮名のなぞり書きができる。(大きめの文字) ・ 具体物を使って、1対1対応ができ、10までの数唱ができる。 ・ 簡単な作業(空き缶つぶしなど)に一定時間(1時間程度)取り組むことができる。
<p>諸検査の結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ IQ (田中ビネー検査、 年 月実施)

● 支援マップ



☐ 支援者(機関)等

【凡例】

- : 支援や連携の方向性を表す。
- ➡ : 支援や連携の強さを線の太さで表す

【補足】

サークルBは、養護学校の母親たち有志による自主的放課後活動サークルで、毎週土曜日に公共の施設(体育館等)を使用して様々な活動を行っている。本生徒も参加している。

(様式2)

週間生活スケジュール

氏名(高橋二郎)

時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日
:							
6:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
	朝食・歯磨き	朝食・歯磨き	朝食・歯磨き	朝食・歯磨き	朝食・歯磨き	朝食・歯磨き	朝食・歯磨き
8:00	学校	学校	学校	学校	学校		
						移動(車)	
10:00						サークルB	外出(買い物等)
12:00							
14:00			レスパイトサービス			自宅	
16:00	自宅	自宅		自宅	自宅		自宅
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
	習い事	テレビ・CD	テレビ・ゲーム	テレビ・CD	テレビ・ゲーム	テレビ・CD	テレビ・ゲーム
20:00	入浴・歯磨き	入浴・歯磨き	入浴・歯磨き	入浴・歯磨き	入浴・歯磨き	入浴・歯磨き	入浴・歯磨き
	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
22:00							
24:00							
:							

週・月・年単位など定期的なスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回 心臓の主治医にて定期検診を行う。 ・ 毎週水曜日は社団法人 センターのレスパイトサービスを利用して、学校から直接、公園で遊んだりや映画を見たりなどの活動を行っている。 ・ 毎週土曜日は、自主活動サークルに母親と参加している。 ・ 月に1回、社団法人 園の OTに手指機能の訓練を受けている。 ・ 夏期休業中にサマースクールに参加している。
---------------------	---

その他	特になし
-----	------

個別の教育支援計画

氏名	高橋 二郎	性別	男	学校名	北海道 養護学校
作成者	担任	作成日	平成 年 月 日 (. . 修正)		

● 本人・保護者の希望

	現在の希望	将来の希望
本人	(聞き取り困難のため保護者が代弁) <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しいことをたくさんやりたい。 ・ いろいろな人と遊びたい。 	(聞き取り困難のため保護者が代弁) <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事をしながら、いろんな人とかわりたい。 ・ 給料でCDをたくさん買いたい。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭ではあまり外へ出たがらないので、たくさんの人とかかわりをもって様々な経験をさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅から福祉施設を利用し、地域の人とかかわりを持ち、働きながら、生きがいのある生活を送ってほしい。 ・ 自分なりの楽しみを持ち、充実した余暇を送ってほしい。

● 課題の設定の理由

友だちに誘われると一緒に遊ぶなど、集団活動に加わることができるが、引っ込み思案で、集団活動の楽しい経験が十分でなかったことから、自分から他者へのかかわりを求めることが少ないため、様々な集団活動を通して、他者とともに活動する経験を豊かにし、日常生活に必要なルールやマナーなどの知識、技能や相手への働きかけなどについて学ぶことが必要である。

また、心臓疾患のため、運動の制限が必要となり、運動不足になりがちなことと、体重のコントロールが必要なことから、無理のない範囲で体力向上を図る必要がある。

さらに、本人及び保護者は、現在の障害の状況から、将来の福祉的就労を希望しており、働く意欲を育てることや、余暇の活用にかかわって、本人が好きな活動を楽しむことができる力を育てることにより、生活全体を生き生きしたものにしていくことが大切と考える。

以上のことから、以下の課題を設定する。

● 課題・支援の目標

	課 題	支 援 の 目 標 (長 期)
	<p>自分から他者へのかかわりを求めることが少ないため、対人関係に広がりや深まりをもたせることが必要である。</p>	<p>学校及び学校外において、様々な人とふれあう中で、経験の拡大を図るとともにより豊かな社会性を育てる。</p>
	<p>運動不足になりがちのため、身体を動かす機会を多くして、運動機能や手指機能を高めることが必要である。(肥満予防も含む。)</p>	<p>適度な運動や適切な活動を通して身体や手指の機能を高める。</p>
	<p>将来の社会参加のため、働くことに喜びをもって、自ら取り組むことができるような気持ちや態度を育てることが必要である。</p>	<p>働くことに関心をもって、作業内容を理解して自ら取り組もうとする知識、技能、態度を育てる。</p>
	<p>生活の中で自分なりの楽しみをもちながら生き生きとした生活を送るため、余暇を活用する力を育てることが必要である。</p>	<p>学習や生活の場面を通して、歌や踊りなどをはじめ、自ら意欲的に活動する態度を養う。</p>
	<p>評 価</p>	

● 支援内容・機関等

支援の目標(短期)	支援内容	支援機関・連絡先	評価時期	評価
(長期目標の)	<ul style="list-style-type: none"> 学校及び学校外での活動場所や活動内容の充実を図り、様々な人とのかわりを促す。 	養護学校 担当 担任 ☎ -	学校の評価時期の10月、3月に合わせて行う。	
	<ul style="list-style-type: none"> レスパイトサービスとして、毎週水曜日の放課後に様々な活動(散歩やプールでの軽運動、買い物等)を行う。*目標と関連 	児童デイサービスセンター 担当 相談 員 ☎ -	適宜、活動内状況を相談しながら行う。	
	<ul style="list-style-type: none"> 毎週土曜日に、サークルの仲間と様々な運動を行う。(遊びやトランポリンなど)*目標と関連 休日にはできるだけ外出する機会を多くとる。 	家庭及び自主活動サークルB 担当 母 *父も積極的に参加する ☎ -	適宜、活動内状況を相談しながら行う。	
(長期目標)	肥満予防及び運動機能、手指機能の向上を図る。	養護学校 担当 担任 ☎ - 栄養教諭	学校の評価時期の10月、3月に合わせて行う。	
	<ul style="list-style-type: none"> 手指機能の向上のための活動について家庭、学校に情報提供する。 手指機能の状態について適宜検査し状態を把握する。 	通園施設 園 担当 OT ☎ 医師	数か月に1回程度担任と一緒に訓練に行きその際に協議する。	
	<ul style="list-style-type: none"> 適切な運動内容について電話やファックス等で適宜例示する。 	総合病院 担当 医師 ☎ -	適宜実施する。	
(長期目標)	手先を使った作業に興味をもち簡単な手順を覚えて、自ら取り組む態度を身に付ける。	養護学校 担当 担任 ☎ -	学校の評価時期の10月、3月に合わせて行う。	
	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で食器の準備、片付けなどお手伝いをする習慣付けを行う。 	保護者 (家庭において継続)	学校の評価時期の10月、3月に合わせて行う。	
(長期目標)	学習や生活の中で主体的に自己表現する態度を身に付ける。	養護学校 担当 担任 ☎ -	適宜実施する。	
	<ul style="list-style-type: none"> カラオケで好きな歌を歌ったり、コンサートに出かけるなど、音楽を楽しむ機会を設ける。 C Dの整理を習慣付ける。 	家族	適宜実施する。	

● 支援者(機関)の連携

項目(会議等)	連携機関(担当者)	内 容	備 考
期 日	コーディネーター		
個別の教育支援計画の策定会議	保護者、担任、園 OT、児童デイ センター 相談員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の教育支援計画についての支援内容及び評価時期等の確認。 ・ 学校での具体的な支援については、個別の指導計画に記載。 	学校の個別懇談(10月、3月)に設定した目標について評価の会議を行うことを確認。
平成17年 月 日	コーディネーター		

相談・支援の記録

氏名(高橋二郎)

項目	時期・期間	内容・結果	担当
相談・支援機関等			
心疾患について 総合病院循環器科	平成4年～ 現在まで	<ul style="list-style-type: none"> 1歳時に、縫合手術(執刀医 医師) 心疾患のため、激しい運動は避ける。 年2回の継続した経過の観察が必要。 	主治医 医師
判定及び療育相談 児童相談所	平成6年5月	<ul style="list-style-type: none"> 障害判定A 知的障害と心疾患等の合併症があるため、知的発達と健康に配慮した療育が必要。 	福祉司
療育手帳の交付 市福祉事務所 保健福祉課	平成6年5月 ～現在	<ul style="list-style-type: none"> 療育手帳交付申請の相談・手続(障害判定Aで継続交付) 	こども福祉係長
療育相談 通園施設 学園	平成8年	<ul style="list-style-type: none"> 知的発達に配慮したかわりと、全身的な運動や手先の細かな運動をできるだけさせることが必要。 	指導員
身障手帳の交付 市福祉事務所 保健福祉課	平成10年4月	<ul style="list-style-type: none"> 身障手帳交付申請の相談・手続(2種4級) 福祉制度相談、支給の申請手続 	こども福祉係長
就学相談 道立特殊教育センター	平成10年	<ul style="list-style-type: none"> 発達の状態に応じた就学の場について相談。知的発達に配慮したかわりと、全身的な運動や手先の細かな運動をできるだけさせることが必要。就学の場などについての助言を受ける。 	センター員
就学相談 市教育委員会	平成10年	<ul style="list-style-type: none"> 同上 	市教委
手指機能 通園施設 園	平成11年～ 現在まで	<ul style="list-style-type: none"> 手指機能の向上について、継続的に支援を受ける。 	P T 医師
養育相談 児童デイサービス センター	平成13年～ 現在まで	<ul style="list-style-type: none"> レスパイトサービスの活用に伴い、本人の心身の発達状況等について随時相談中。 支援費利用にかかわる相談を受ける。 	相談員

* 相談・支援機関等：相談、治療、訓練、診断、生活支援等の機関などの活用歴